

海外安全対策情報 令和7年度第3四半期

1 社会・治安情勢

- (1) 多くの観光客が訪れるリオ市ゾナスル地区においても、スマートフォンを狙った強盗事件や窃盗事件（ひったくり・置き引き）が引き続き多く発生しており、日常生活において十分な警戒が必要です。
- (2) 12月31日には、年越しを祝う恒例の音楽イベントや花火大会がコパカバーナ海岸等で開催されました。リオ市によると、コパカバーナ海岸でのイベントだけでも来場者は約260万人となりました。リオ州軍警察は、同イベント中に200本以上の刃物を押収しました。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) リオ州公安統計院（ISP）によれば、2025年10～12月期のリオ州内における殺人事件発生件数は721件で、前期比で約3%増加しており、引き続き高い水準で事件が発生しています。
- (2) 同期間中のリオ州内における強盗事件発生件数は24,253件（前期比約+5.3%）です。手口別では、特に屋外での強盗（車両強盗、通行人強盗、交通機関内強盗、携帯電話強盗）が多く発生しています。
また、2025年中のリオ州における強盗事件発生件数は97,712件で、前年と比べて9,207件（約8.6%）減少したものの、携帯電話を狙った強盗事件については、前年比で約19.7%増加するなど、引き続き日常生活において十分な警戒が必要です。
- (3) 同期間中のリオ州内における窃盗事件発生件数は45,507件で、前期と比べて約4.0%減少していますが、2025年中のリオ州における窃盗事件発生件数は187,979件で、前年比約4.7%増加しており、過去10年間で最も多い発生件数となっています。窃盗事件には十分な注意が必要です。

3 リオ州犯罪発生状況（2024-2025 年度）

	2024 年度	2025 年度	第 2 四半期 (7 ~ 9 月)	第 3 四半期 (10~12 月)
	第 4 四半期 (1 ~ 3 月)	第 1 四半期 (4 ~ 6 月)		
殺人	833	687	699	721
不同意性交等	1,463	1,406	1,517	1,481
商業施設強盗	384	449	510	523
住居侵入強盗	204	151	166	163
車両強盗	6,573	5,163	5,403	8,100
通行人強盗	8,434	7,089	6,328	5,758
交通機関内強盗	1,324	912	854	613
携帯電話強盗	6,542	6,580	6,562	5,941
強盗総数	26,867	23,566	23,026	24,253
窃盗総数	49,443	45,645	47,384	45,507
取扱件数	245,997	233,444	246,089	239,678
※警察介入の際の致死事件	206	172	141	278

4 一般事件等（邦人の安全に関わりうる事件を抜粋）

（1）窃盗（置引事件・サントス・ドゥモン空港内）

11月13日（木）、サントス・ドゥモン空港内において窃盗（置引）事件が発生しました。被害者が荷物を地面に置いていたところ、被害者の隙みて荷物が持ち去られました。

（2）強盗致傷（フラメンゴ地区）

11月15日（土）、フラメンゴ地区フラメンゴ公園内で外国人観光客2名が被害者となる強盗致傷事件が発生しました。被害者らが同公園内にいたところ、2人組の犯人がナイフを持って近づき所持品を強奪しました。その際、被害者らが犯人に抵抗したところ、ナイフで刺され病院に搬送されました。

（3）詐欺（イパネマ地区）

12月1日（月）、イパネマ地区の屋台で外国人観光客がクレジットカードを使用してタバコを購入したところ、後日、本来の金額を大きく超える1,600ユーロが請求されました。

5 テロ・爆弾事件発生状況

事件の発生は認知されていません。

6 誘拐・恐喝事件発生状況

日本人の被害は認知されていません。